「宮崎で働きたい！」あなたを応援する

参加対象者 2021年「春」卒業予定の大学院・大学・短大・高専・専修学校・各種学校の学生、宮崎で働くことを希望する若者

宮崎県就職ナビ2021

宮崎で働く。生きる。

先輩の声 vol.1

「宮崎で働きたい!」という皆さんを応援しようと、宮崎日日新聞社は、「宮崎県就職ナビ2021」キャンペーンを始めました。

これまでに、県内で働くさまざまな業種の40人を取材し、仕事のやりがいや夢、普段の生活などを特設サイト(http://www.miya-navi.com/2021/)で紹介しています。宮崎で働く「先輩の声」を26、27日付で紹介します。

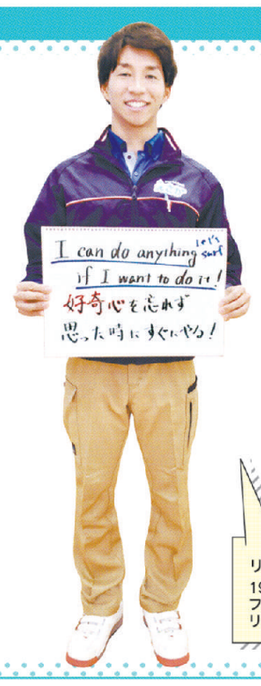
会員登録はコチラから

宮崎日日新聞 THE MIYANICHI

お問い合わせ 宮崎県就職ナビ2021事務局(宮崎日日新聞社業務局企画開発部) 〒880-8570 宮崎市高千穂通1-1-33 TEL.0985-26-9333(平日9:00～17:00)

建設・住宅・サービス

日々の学び重ねて 仕事、趣味も充実



江坂設備工業株式会社

https://esaka-setsubi.co.jp/

宮崎市橘通西5丁目2番33号

わが社のここがポイント！

- 安定した財務基盤と堅実経営、そして地元みやざきへの社会貢献活動を継続して行っている
- 宮崎県「ひなたの極み」認証企業で働きやすい環境、充実した福利厚生制度がある
- 若手社員の定着率が非常によく(離職率が低い)、人材育成に力を入れている

設立:1969年6月
売上高:16億3千万円(2019年5月)
従業員数:社員58人、パート・嘱託2人(2019年10月現在)

リフォームスタッフ 三谷 匡俊
1991年生まれ。兵庫県出身。大阪体育大学体育学部卒業。2019年9月、リフォームショールームのオープンに伴い入社。趣味のサーフィンが高じフィリピン、オーストラリアに語学留学やワーキングホリデーで滞在の経験あり。

サーフィン縁で宮崎へ

兵庫県尼崎市で生まれ育ち、大学も関西でしたがサーフィンが好きでフィリピンやオーストラリアにも行きました。

オーストラリアでは2年間、ワーキングホリデーを利用して働いていましたが、結婚を機に帰国することを決めました。サーフィンができて気候がオーストラリアに似ているということで宮崎を選びました。

見ず知らずの土地で新婚生活を始めることになるので妻の両親を安心させたいと思い、安定性と福利厚生を重視し、この会社を見つけました。

ショールームのオープンと重なり、立ち上げメンバーなら、知らない土地でもスタートラインは皆と一緒です。気兼ねなく仕事ができています。社長が気さくに面談に応じてくれたことも、うれしかったですね。

忙しさもやりがいに

想像していた以上に忙しく仕事をしています。やったことない仕事に加え、入社したばかりなので勉強することも多いですが、これまでと違う経験を楽しみたいと思っています。まだ仕事をしながら仕事を覚え、勉強している段階なので…。

新入社員からベテランまで全員で5人。雰囲気は良いと思います。分からないところは遠慮せずに尋ねられます。「家に関する仕事なのでスタッフもアットホームで仲良くありたい」と思っています。

仕事の腕磨く

新入社員が1年経ってようやくトイレを扱えるようになったと聞きました。私も1年以内にはそうなりたいです。その後は洗面台、ユニットバス、キッチンと腕を磨きたいです。

事務処理などは、今までの職場経験を生かそうと思っています。仕事の流れがまだ分かっていない部分があります。手書きで覚え書きのようなものを少しずつ作っているので、そのうちしっかりとした形にしたいと思います。

宮崎はサーフィンだけでなく、プロスポーツのキャンプも楽しみの一つ。一流選手のプレーを近くで見ることができてラッキーです。家族が増えたら一緒に応援に行きたいですね。

宮崎で仕事も趣味も楽しんで、毎日の生活を充実させたいです。

製造

改善と工夫重ね 会社と共に成長を

株式会社 MFE HIMUKA

http://www.hn-t.co.jp

日向市大字日知屋17148番地9

わが社のここがポイント！

- 信用と人材が会社の財産です
- ものづくりとひとづくりで地域を元気にします
- 社員の挑戦と成長を応援します

設立:1964年4月1日
売上高:13億8,315万円
従業員数:社員52人、パート・嘱託5人(2019年9月現在)

製造部 前段取り 主任 佐藤 尚子
1988年生まれ。延岡市出身。宮崎産業経営大学経営学部卒。2011年入社。製造部で溶接などの業務を経て、現在は、図面を元にCAD上で、次の工程のプログラムを入力する前段取りを担当。

中小企業だからこそやりたいことできる

元々県外就職は考えず、実家のある延岡市から通勤できる企業を探していました。就職活動中はちょうど「氷河期」。大学3年の時から就活をしていましたが苦労しました。

就職説明会に参加した時、多くの企業は人事担当者が会社説明をしていたのですが、この会社は島原社長自らが話をしていました。「中小企業だからこそ、自分のやりたいことができる」と熱く語る姿を見て、興味を持ちました。

その後、見学会にも参加。当時の社名は「日向中島鉄工所」だったので、鉄工所というと町工場のようなちょっと雑然としているイメージを持っていましたが、きれいな工場を見て変わりました。女性も男性と対等に仕事をしている姿を見て「自分もここで働きたい」と決めました。

求められる高い精度自ら考え、工夫

現在は、製造部で機械のオペレーター業務をしています。設計部からきた図面を見て、レーザー加工機やプレス加工機が1枚の板をどのような形に切断したり、どのような角度で曲げたりすればいいかをCAD(コンピューター利用設計システム)上で描き、プログラムを入力しています。最初は図面やCADの使い方が分からず、工程が滞ってしまうことも。ミスはそのままにせず、自分で改善方法を考え、仕事の仕方を工夫するようにしています。

設計と製造をスムーズにつなぐには、正確さやスピードが求められます。より精度を高めるため、板金図面検定など資格取得に挑戦しています。より良いものを造るために、知識だけでなく、社員とのコミュニケーションも深めていきたいと考えています。

さまざまイベント部署超えて仲良く

職場はとてもアットホームな雰囲気です。月1回、誕生会があり、その月の誕生者にはお弁当とケーキが用意され、社長や常務とランチを共にします。クリスマスケーキも社長から全社員にプレゼントされます。ゴルフ好きな社員が多く、コンペやラウンドをしているようです。最近、女性社員を中心にミニバレーボール部が発足。部署を超えて社員同士がとても仲がいいと感じています。

結婚しているので、休日はたまった家事をすることが多いです。夫と一緒にドライブをしたり魚釣りをしたりして楽しんでいます。

IT・通信

将来のリーダー目指して プログラムで命守る

株式会社 MJC

http://www.mjcnet.co.jp/

宮崎市霧島2-84-1

わが社のここがポイント！

- 「ICT技術で命をまもる」を理念に、消防・医療・福祉・防災等のシステムを自社開発
- 創立49年の信頼を基に、最先端のシステム開発にも積極的に携わっています
- 社員教育に力を注ぎ、社員を大切にする会社です

設立:1972年3月1日
売上高:30億3,754万円(2019年2月期実績)
従業員数:社員300人(2019年7月現在)

事業本部 肥後 大次朗
1993年生まれ。宮崎市出身。鹿児島大学大学院理工学研究科卒業。2018年にMJCに入社。事業本部で消防統計システムの担当をしている。

鹿児島の大学に進学しましたが、「将来は宮崎で就職したい」という思いが強くありました。大学でIT関係の勉強をしたので、この業界に絞って就職活動をしました。

数多くの就職説明会に足を運び、そこで出会ったのがMJCです。採用担当の方にいろいろ質問したら、全て答えてくれました。皆さんがとてもいい雰囲気で話しをしてくれ、他社と比べた時にとても魅力を感じ、「ここで働きたい」と思ったのが、入社の決め手となりました。

要望聞いてカスタマイズ

当社の核となる自社パッケージ「消防統計システム」の開発メンバーとして働いています。

具体的には、災害が発生して消防隊が出動した際、どのような災害で何人くらい出動し、資機材は何を使ったかなどの状況を記録し、国に報告しなくてはいけないのですが、その記録を管理したりと、消防局様の事務作業を円滑にするためのシステムを作っています。

「システムをこうして欲しい」等、細かなご要望を伺いながらチームでカスタマイズしています。現在全国60の消防局様に使って頂いています。

宮崎で仕事ができる幸せ

宮崎県人は人が良いというのは自分でも感じていましたが、就職で戻ってきて、それを痛感しています。

宮崎出身の方が多い会社なので、基本的に良い人ばかり。ぎすぎすしたところを見たことがありません。結局、雰囲気が良いというところに行きつきます。

美味しい食べ物と美味しいお酒があり、過ごしやすいところで生活ができるのはいいなと思います。

ICTのリーダー的存在へ

今は上司に指示を受けて業務についていることが多いので、将来的には自分から指示を出せる立場になりたいと思います。

そのためには日々、いろいろなことを勉強して知識を付け、どう振舞い、どうコミュニケーションを取れば良いのかを考えながら仕事をしていかなければなりません。

キャリアアップのための資格取得も、これから頑張っていきたいと思います。

製造

少年に夢を与えた「キヨモト」の技術力

清本鐵工株式会社

https://www.kiyomoto.co.jp/

延岡市土々呂町6丁目1633番地

わが社のここがポイント！

- 「鉄で作れないものはない！」というプライドを持っている会社です！
- 研修や資格取得のサポート体制が充実しており、成長していける職場環境です！
- 2018年度グッドカンパニー大賞「優秀企業賞」を受賞しました！

設立:1937年2月
売上高:140億円(2019年3月期)
従業員数:社員487人(2019年11月現在)

製品事業本部 製造部 製造1課 阿波野 一平
1995年生まれ。延岡市出身。宮崎県立延岡工業高等学校機械科卒業。2014年に入社。製造部製造1課で組立係として勤務中。1年のうち3分の1は県外を仕事で回る。地元の神楽保存会に所属し、初冬は地域の祭りで活躍中。

目指した仕事、働きたい場所

中学2年生のとき職場体験で清本鐵工を2日間訪れました。そのとき触れた溶接技術に、すごく感動しました。働いている人たちの雰囲気もよく、「うちに来な!」と言ってくれたことにも感激しました。そのときの体験から工業系に進むことを決めました。まさに、14歳の人生を変えた出会いでした。

会社では機械の製造から設置、メンテナンスまでを一貫して行っています。機械は車検のように決められた期間での点検があり、私は機械の保守、点検を行っています。取り扱う機械は食品製造、火力・水力・原子力発電など。大きさにも幅があり、内容も多岐に渡ります。1年の3分の1は県外に出て企業の現場で作業しています。

中学生で目指すと決めた職場は、入ってみると考えていた以上に技術力が高かったです。働いている人の腕はもちろん、何かあったときの対応、仕事のやり方をもっと改善しようと皆で意見を出し合って考える姿勢も含め一流だと思いました。溶接日本一になった人も働いているのですが、私の部には、機械の音を聞いただけで悪いところが分かる人がいます。手を触れずにその場の状況を把握でき、的確に現場に指示できるのです。

高いレベルの勉強ができる

全国を回るので、いろいろな職場を見ることができます。私は大きな工場に入り、そこの仕事の裏側に触れます。企業の仕事の流れや機械の配置など目にします。扱うのはどこも大手企業なので、それらの情報は、外には出せない貴重なもの。そこを知ることは、仕事の上で私の技術にも生かせると思います。毎日のいろいろなことが勉強になっていると思えるところにやりがいを感じています。

地元に貢献しながら腕を磨く

私の地元は若者が少ないのですが町を活気づけたいと思い、消防団や地元の神楽保存会に所属して頑張っています。子どものころから見ていた神楽を11月の大祭で、12番ほど舞っています。

今後は仕事でも私にしかできないことをやりたいです。失敗を恐れずに仕事にあたり技術力を磨いていきたいです。そして周りの人から、この仕事は阿波野じゃないとダメだって言ってもらえるような技術者になりたいですね。